

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	株式会社 B. シャンブルウエスト
公演団体名	バレエシャンブルウエスト

内容
<p>バレエの歴史を学び、本公演で上演する「くるみ割り人形」の物語を解説したのちバレエダンサーが毎日行う基礎レッスンの様子を解説付きで解説いたします。その後ダンサーと生徒さんと一緒にバレエのレッスンを体験していただきます。バレエでは言葉を発さない代わりに「マイム」という手と体の動きで表現をします。その「マイム」の解説をし、「マイム」の動きを一緒に体験していただき、バレエの世界に触れていただきます。</p> <p>ダンサーと一緒に身体を動かすことで舞台上のダンサーの動き、表現を体感していただけます。</p>

タイムスケジュール（標準）
準備 30分 ワークショップ 45分 片付け 10分 ※学校の授業時間に合わせられます。

派遣者数
主指導者 1名 ダンサー 5名

学校における事前指導
<p>クラシックバレエの中の3大バレエ音楽「くるみ割り人形」「白鳥の湖」「眠れる森の美女」の名称の確認。作曲家チャイコフスキーの名前の把握などの基礎知識があると良いです。</p> <p>生徒さんがバレエに興味を持てるようにワークショップを進めてまいります。体操着又は動きやすい服装での参加が望ましいです。</p>

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	株式会社 B. シャンブルウエスト
公演団体名	バレエシャンブルウエスト

演目
第1部「バレエってなんだろう～バレエのふしぎを考えてみよう～」 構成・演出：今村博明
第2部「くるみ割り人形」 学校公演スペシャルバージョン 原作：E.Tホフマン 作曲：P.Iチャイコフスキー 演出振付：今村博明 川口ゆり子

派遣者数
出演者：35名 スタッフ：26名 合計：61名

タイムスケジュール（標準）
午前中（AM7：45）仕込み AM9：00 ダンサークラスレッスン AM10：30 リハーサル AM11：30 生徒出演者リハーサル PM1：00 開場 PM1：30 本番 PM3：00 終演予定 ※大まかなスケジュールになります。学校の授業時間給食時間を配慮し学校側と調整後正式決定になります。

実施校への協力依頼人員
舞台設営、照明設営、衣裳の準備などを行います。こちらは技術スタッフの方でおこないます。 本公演内では実際に舞台の上に立っていただく体験、をしていただきますのでダンサーと一緒に出演をお願いします。 第1部 マイム実演（当日会場で選ばれた方） 第2部 パーティーに出席する子供役（男女4名）お菓子の国の執事役（男女4名） お菓子の国の女の子（女6名）

演目解説

第1部

「バレエってなんだろう～バレエのふしぎを考えてみよう～」

バレエがどのようにはじまったのかから、なんでバーレッスンするの？なんでストレッチするの？なんでトゥシューズなの？なんで喋らないの？生徒さんにバレエのなんでもを質問します。

バレエのなんでもを解説し、バレエのふしぎについて学習できるようにしています。一方的に指導者の話をするのではなく、一緒に考えて一緒に身体を動かすことでバレエを身近に感じていただけたと思います。

・バレエのレッスン

通常バレエ団で毎日行っているレッスンを一部見学していただきます。

レッスン中はバレエの動きの解説が細かく入りますので、レッスンの動きの意味やレッスンの大切さについて知る事ができます。

・マイム

バレエは言葉を発しません。「マイム」というバレエ特融の動きによって会話することを解説しながらダンサーと一緒にマイムの動きを体験していただきます。

第2部のくるみ割り人形のみどころ、くるみ割り人形で使われるマイムの解説も交えながらくるみ割り人形がより深く分かりやすく楽しめるようにします

第2部

「くるみ割り人形」は「白鳥の湖」「眠れる森の美女」と共にチャイコフスキー作曲の3大バレエとして今日に継承される名作です。

クリスマスイブにももらったくるみ割り人形とともに主人公のクララが雪の国やお菓子の国を旅するクララの夢物語ですが、その中に少女の優しい感性があふれる作品です。見どころはお菓子の国の各国の踊りです。それぞれのお国柄の踊りを楽しめ、耳なじみのある音楽が沢山あります。

作品の季節設定から今日クリスマスシーズンに世界中のバレエ団で上演されていますが、その初演は1892年サンクトペテルブルグのマリンスキー劇場でした。

ロシアで生まれた作品が海を渡りその後世界中のバレエ団で上演を重ね、多くの観客の支持を受け今日に至る歴史がその価値を実証するもので、継承された伝統芸術としてバレエの魅力をお伝えする事が出来ます。

バレエシャンブルウエストでは1989年に初演し、32年間連続上演し好評を博す作品です。

今回は学校公演用スペシャルバージョンとして手を加え、解説を入れた新演出で子供達にもわかりやすく親しみやすいようになっています。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

本公演ではダンサーと一緒に生徒さんも舞台に出演していただき、総合芸術であるバレエを体感していただきたいと思います。

当日開演前にダンサーから直接生徒さんに一人一人指導させていただき、衣裳スタッフが衣裳の着用をお手伝い致します。

低学年の生徒さんも楽しく問題なく出演して頂けます。

ダンサーだけではなく様々なスタッフさんが生徒さんと関わることで舞台に関わる多くのスタッフについても知っていただける事ができます。

児童生徒とのふれあい

1部のワークショップではバレエの歴史を学んでいただきバレエの歴史の深さを解説します。その後実際のダンサーの動きと一緒に経験してもらう事でダンサーの柔軟性や日々のレッスンの大事さを感じる事ができます。

名作バレエ「くるみ割り人形」の鑑賞は舞台芸術に触れる第1歩として小中学生にふさわしい作品だと思います。

本作品の第1幕の行進曲や第2幕の中国の踊り、花のワルツなどは小中学生にもなじみのあるもので、メディア等でもよく流れる音楽とダンサーの踊りが一体化するバレエを目と耳で実際に楽しむ事ができるのではないのでしょうか。鑑賞する生徒さんが出演する生徒さんが普段とは違う姿へ変わる事を目の当たりにすることも特別な体験となると思います。

出演する生徒さんはダンサー、衣裳スタッフ、技術スタッフを身近に感じ一緒に舞台を創り上げる貴重な体験ができます。

YouTube等の映像ではなく実際の舞台芸術に触れ、舞台に立つ経験と舞台作りの様子を経験してもらい、今後の子供たちの未来に活かさせていただけたらと思います

